

あなたを一人ぼっちにはさせない

2019(令和元)年度

北九州
教師養成

みらい塾

令和元年度 塾生データ

○ 総数…253名（学生：220名、講師：29名、その他：4名）

○ 塾生所属大学

市内

九州女子大学・短期大学、西南女学院大学、九州共立大学

県内

福岡教育大学・大学院、中村学園大学、九州産業大学、
福岡女学院大学、福岡県立大学、筑紫女学園大学、福岡大学、西南学院大学

県外

梅光学院大学、広島大学、山口大学、長崎大学、下関市立大学、宮崎大学
広島修道大学、山口県立大学、東亜大学、熊本大学、佐賀大学、鹿児島大学
大分大学、くらしき作陽大学、県立広島大学、就実大学、徳山大学
大阪信愛学院短期大学、奈良大学、兵庫教育大学大学院

通信

佛教大学、玉川大学、東京未来大学

○ 塾生の振り返り



塾生の「めあて」
や「学びの足あと」
を3階廊下に掲示
中です。是非ご覧
ください！

あなたを一人ぼっちにはさせない

2019(令和元)年度

北九州
教師養成

みらい塾

第1回

日 時:令和元年7月7日(日)

参加者:205名

会 場:北九州市立教育センター

北九州市では、スポーツと文化の両面で、子どもたちのシビックプライドを育んでいます。

田島裕美 教育長

【午前】開講式・教育長講話・

演習「仲間のことを知ろう」「みらい塾の目標を考えよう」

名刺交換やアイスブレイクで緊張がほぐれ、笑顔も見られました。田島教育長も名刺交換に参加されました。

【午後】 演習 学級開き体験①「学級開きについて知ろう」

学級開き体験②「子どもたちに自己紹介をしてみよう」

各自の目標を集めた掲示物

学級開きでの「担任紹介」を教師役と子ども役に分かれて模擬体験しました。

学級開きの目的を確認した後、先輩教員の学級開きを見学しました。校種や学年に応じた技を学びました。

みらい塾参加者の感想(抜粋)

スポーツや文化を通して子どもたちに北九州市のよさを知らせること、自分の街を誇りに思う気持ちを育てることの大切さに気が付いた。そして、そのために北九州市がラグビーのワールドカップや、東アジア文化都市事業の成功に向けて、様々な取組をしていることを知ることができた。(小学校講師)

今日初めて学級開きをしてみて、具体的なイメージをつかむことができた。教育センターの先生方が実際に低学年、中学年、高学年に分かれて学級開きをしてくださったので、各発達段階に合わせた学級開きについて知ることができ、実りある1日になった。(大学2年生)

県外から来たのでほとんど知り合いがいなくて不安だったが、夢に向かって一緒に頑張れる仲間ができて嬉しい。また、学級開きでは、たくさんの先生方の手本を見て、実践する機会もあったので、教師になることへの実感や期待がふくらんだ。(大学4年生)





北九州
教師養成

みらい塾

第2回

日 時: 令和元年8月25日(日)

参加者: 182名

会 場: 北九州市立教育センター

【午前】 演習『北九州子どもつながりプログラム』を活用した子ども支援」

演習「求められる教師像」

演習「子ども理解を深め、信頼関係を築く関わり方」

「北九州子どもつながりプログラム」を体験するだけでなく、その中で、教師としてどのような支援を行えばよいのかについて考えました。



KitaQ せんせいチャンネルの「教師のしおり WEB」を活用して、求められる教師像について考えました。

【午後】 演習「信頼関係を築くための保護者対応」



参加者の学びの足跡はひまわりの形にして廊下に掲示しています。



講話「子どもたちの明るい未来のために」

講師: 北九州市 PTA 協議会 小森 潤一郎 会長

ロールプレイを通して、どうすれば保護者と信頼関係を築くことができるのかを考えていきました。



「子どもたちの明るい未来」のために、保護者と先生で協力していきましょう。

みらい塾参加者の感想(抜粋)

たくさんの人と意見を交換したり、指導方法などを深く話し合ったりすることで、子どもへの関わり方について多面的に考えることができました。忘れ物が多い子どもの背景には、様々な理由が考えられます。忘れ物をした子どもをすぐに叱るのではなく「どうして忘れたのか」「その背景には何があるのか」などを考えることが大切だと分かりました。(大学2年生)

受講する前は、保護者＝クレーム対応というイメージをもっていたのですが、講座を通して、保護者の思いに寄り添って、一緒に子どもの成長を見守っていくというイメージに変わりました。また、課題に対して、個人で解決するという意識が強かったのですが、組織で課題を解決する姿勢が大切だと聞き、とても勉強になりました。(大学3年生)

PTA協議会長の小森さんの講話から、純粋に子どもを思う保護者の気持ちが伝わってきました。また、自分の「未来」についても深く考えさせられる内容でした。ありがとうございました。(小学校講師)



第3回

日時: 令和元年10月6日(日)

参加者: 166名

会場: 萩原小学校、熊西中学校
小倉北特別支援学校

【午前】 模範授業 授業体験



現在、学校現場で活躍されている先生方の模範授業を子ども役になって体験しました。

模範授業の中で真似したいところを交流した後、実際に授業をしました。

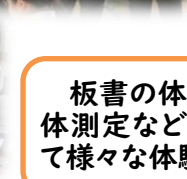
【午後】 小・中学校

- グッドプラクティスの見学・交流
- 演習(希望する校種に沿った演習)
- 清掃体験

特別支援学校

- 講話「特別支援学校を知ろう」
- 学校見学と意見交流
- 清掃体験

学校の中にあるグッドプラクティスを見付け、グループで交流しました。



板書の体験や掲示物づくり、身体測定など校種や教科等に沿って様々な体験をしました。

みらい塾参加者の感想(抜粋)

授業づくりでは、マイスター教員の先生がわかる授業のポイントを示しながら模範授業をしてくださり、大変勉強になりました。また授業の技だけでなく、どんな思いで授業をつくられているのかを教わりました。振り返りに関しても、全ての授業で振り返りをされていると聞いて驚きました。(小学校希望 大学生)

教具や思考ツールを活用した授業のイメージが広がりました。また、教室や廊下の統一された掲示物などから学校や学年の一貫した教育活動を垣間見ることができました。(中学校希望 講師)

模範授業や学校見学を通して、今後ぜひ真似したいアイデアをたくさん得ることができました。小・中・高等部それぞれの発達段階に応じた支援の違いを話し合うことにより、発達段階に応じて大切にしないといけないポイントが明確になりました。(特別支援学校教諭希望 講師)

掲示物を通して、給食指導のきまりごとや食の魅力、調理師の仕事などについて伝えることも栄養教諭の大切な役割の1つだと実感できました。また、武石先生の講話を通して、食に関する指導の基盤には給食管理があり、給食管理を日々充実させ、繰り返し行っていくことがよりよい指導につながるということを学びました。(栄養教諭希望 大学生)



第4回

日 時: 令和元年11月17日(日)
参加者: 142名
会 場: 北九州市立教育センター

- 【午前】○ 先輩教諭に何でも聞いてみよう
○ 『子どものほめ方、叱り方』のポイントを考えよう

ほめ方、叱り方のロールプレイを通して、気付いたことを交流したり、先輩教諭からアドバイスを受けたりしました。



サポーターの声

学級経営、授業づくり、生徒指導などについて、現場で活躍している先輩教諭と懇談しました。

- 入職前にたくさんの情報や経験を得られ、横のつながりができる「みらい塾」は大変有意義であり、自分の頃にはなかったので、うらやましく感じた。
○ 北九州市で教員になりたいという熱い思いや志をもっている方がこんなにもたくさんいることを心強く思った。自分自身を見つめ直す機会になった。

当日は、47名のサポーター(4年次教諭など)にご協力いただきました。ありがとうございました!

【午後】 小・中・特別支援学校

- 道徳科の授業づくりのポイントを知ろう

養護教諭・栄養教諭

- アレルギー対応について考えよう

模擬授業を通して、子どもの考えを広げたり、深めたりする発問や問い返しについて学びました。



小・中学校



特別支援学校

特別支援教育の立場から道徳科の授業づくりのポイントについて考えました。

アレルギー対応給食に関する講話やロールプレイを通して、エピペンの使用方法を学びました。



栄養・養護教諭

みらい塾参加者の感想(抜粋)

- 先輩の先生方の現場での話を聞いて、教師を目指していく上で必要なこと、教師になった後で気を付けていかなければいけないことを聞くことができてよかった。また、模擬授業を通して、子どもたちを授業に引き込むためにしっかりと発問を考えることが大切だと学んだ。(小学校教諭希望・大学生)
- 4年目の先生方に、学校での一日の流れを聞いたり、不安に思っていることを相談したりすることができ、とても充実した懇談になった。また、午後のプログラムでは、様々なタイプの子どもの想定した模擬授業を通して、他の受講者の意見も取り入れることができた。(中学校教諭希望・講師)
- 特別支援学校での道徳科の授業は、奥が深いと改めて思った。考えを可視化する教具を効果的に使うことで、子どもの理解にもつながるので、私も工夫していきたい。(特別支援学校教諭希望・講師)
- 先輩教諭に気軽に話をする中で、疑問に思っていることをたくさん解消することができた。また、アレルギーのある子どもへの対応に関する演習を通して、自分には十分な対応ができるような知識が不足していることに気付くことができた。(栄養教諭希望・大学生)





北九州
教師養成

みらい塾

第5回

日時: 令和元年12月8日(日)
参加者: 154名
会場: 北九州市立教育センター

- 【午前】 ○ グループディスカッション「夢を語り合おう」
○ 閉講式
○ 給食試食会

グループディスカッションでは、教育委員会事務局と「子どものよさを伸ばす学級」「求められる教師像」などについて意見を交換しました。



閉講式では、教育長から労いの言葉と、修了認定書・皆勤賞をいただきました。



田島裕美 教育長

「1cmの会」のみなさん
ありがとうございました！

給食試食会では、栄養教諭自主勉強会「1cmの会」のみなさんが作ってくださったドライカレーとミックスフルーツをおいしくいただきました。



- 【午後】 ○ チューターグループでの茶話会と振り返り

今年1年間、共に頑張ってきたチューターグループの仲間たちとこれまでの学びを振り返り、夢を語り合いました。



みらい塾参加者の感想(抜粋)

- グループディスカッションでは、自分にはない考えを他の受講生から聞くことができ、よい影響を受けました。教育委員会事務局の先生方の北九州市の子どもたちへの思いを知り、「将来、絶対に北九州市で働きたい!」と強く思いました。(中学校教諭希望・大学生)
- 教育長や教育委員会事務局の先生方と話すことで、北九州市の教育方針について知ることができました。先生が私たちに熱心に語ってくださる姿を見て、北九州市は、とても素晴らしい都市だと改めて感じました。(小学校教諭希望・講師)
- 教育長の「子どもの頭は柔らかい。教師の頭も常に柔らかくして色々なものを学び、吸収していかなければならない。」という話がとても心に残りました。そんな教師を目指します。(栄養教諭希望・会社員)

